



2025年大阪万博へ 万全の準備で実現を!

● 明年3月までにBIE(国際博覧会事務局)調査団が来阪

◎【万博誘致の推進について】 重大な局面となるBIE調査団による大阪での現地調査を万全に整え、万博誘致を決定的なものにするための、知事の意気込みを伺う。

▲ 松井知事答弁 SDGsの達成にも貢献するライフサイエンスやものづくり産業の集積、交通インフラの利便性、世界トップクラスの治安の良さやおもてなし、さらには歴史や文化など、大阪・関西が有する強み、ポテンシャルを最大限にアピールし、大阪・関西が2025年の万博開催に最もふさわしい地域であることを、調査団を通じてBIE加盟国に示すとともに、私としても、万博開催に向けた強い決意を調査団に訴えたい。



● 日本開催の決まったG20(2019年)を 是非大阪へ誘致すべき!

◎【G20の大阪誘致について】 日本で初めてG20が開催されることで、これまで経験したことのない日本の威信をかけた行事となる。

G20は、世界で最も重大なVIPが集まる国際会議であり、空港や会場となる施設に関して(外務省より)極めて高い条件が示されており、当然、警備面においても最高レベルでの警備体制が求められている。

(国内の)どこでするかは、これから外務省が検討することになるが、開催期間中には、政府関係者や、プレス関係者、会議スタッフなど、約3万人が宿泊することとなり、高い経済効果も期待される。

G20誘致に向け応募し、大阪開催を実現すべきと思うが知事の考えは?

▲ 松井知事答弁 G20を大阪で開催することは、大阪の知名度、都市格の向上に繋がるとともに、2025年万博誘致への弾みになるものであり、今後の大阪にとって大きな意義を持つ。府・市・経済界のオール大阪で、この大阪の地でG20が開催できるよう、取り組んで参りたい。



◀【8月】東京・JICA地球ひろばのSDGs展を視察



▲【8月】養父市にあるオリックス農業(株)の植物工場を視察



▲【5月】少子化対策PTできょうと婚活応援センターを視察



▲【11月】熊本地震の復旧事業を視察(益城町)と(熊本城)▶



公明党大阪府議会議員 幹事長
八重樫 善幸

● 【少子化対策】及び 【知事重点事業】について

◎ 少子化対策で最も重要な対策は、教育支援。社会保障・人口問題研究所の「第15回出生動向基本調査」では、夫婦が理想の子供人数を持たない理由の第一位として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が56.3%。更に、34才以下の方に限れば、65.6%と、少子化対策の最大の課題は、子育て・教育に対する支援といえる。

そんな中、大阪府の私立高校授業料無償化制度には、約200億円程度と、知事重点事業の中でも半分近くを占める予算を投入してきた。

少子化の観点からも、大阪の成長を促す観点からも、この事業に国費が入った際には、更なる教育支援を拡充し、教育に限定して使うべきと思うが、知事の考えは如何。

▲ 松井知事答弁 大阪府では、国に先駆けて(この事業に)取り組んできた。今回の衆議院選挙では、各党が教育無償化に向けて公約を掲げており、私としては、今後国会の議論を通じて、国において是非実現して頂きたいと考えている。

仮に、この補助について、教育無償化に余裕ができましたら、教育はもちろん子育てという全般の中で、知事重点事業として事業を拡充していきたい。そのことで生まれる大阪独自の財源は、次の世代、未来に向けて、大阪を支えてくれる次世代のための財源として考えていきたい。

- 総務常任委員会での他の質問事項
- ・新公会計制度の「見える化」の取組について
- ・ファミリーマネジメントの取組について
- ・府の結婚支援の取組について
- ・サイバーレジリエンスについて
- ・行政課題別の公民連携について
- ・公民戦略連携デスクの大学との連携について

活動トピック

